

第77回国民体育大会栃木県準備委員会設立趣旨

第77回国民体育大会の招致については、県議会をはじめ、スポーツ団体など関係各位の御尽力により、平成25年7月、公益財団法人日本体育協会から開催申請書の提出順序の了解通知を受け、平成34年の本県開催が事実上の決定をみたところです。

国民体育大会は、昭和21年に、戦後の混乱期からスタートし、我が国最大のスポーツの祭典として、国民の健康増進と体力向上、スポーツの普及・発展、地方スポーツの振興等に大きく寄与してまいりました。

本県においては、昭和55年に「のびる力 むすぶ心 ひらくあした」をスローガンに栃の葉国体を開催し、県民が総力を傾注して大会を盛り上げ、本県のスポーツの振興はもとより、県勢発展の礎となったところです。

平成34年の本県での国民体育大会開催は、2万人を超える選手団をはじめ、数十万人の来県者が見込まれ、歴史と伝統、そして自然に恵まれた本県の特徴を広く国民に伝える機会であると同時に、スポーツを通して県民に夢と感動を与え、活力に満ちた元気な栃木を創る原動力となります。まさに、本県の将来像「安心」「成長」「環境」をともにつくる「元気度 日本一 栃木県」に直結する意義のある大会であります。

この国民体育大会を成功させるには、県・市町村及び関係機関・団体が一丸となって、県民の英知とエネルギーを結集し、開催準備に取り組む必要があるため、ここに第77回国民体育大会栃木県準備委員会を設立し、諸準備に万全を期するものです。